



自立し、互いに関わり合いながら、よりよい社会づくりに参画し行動する「有徳の人」の育成を目指して

Eジャーナルしずおか

平成29年(2017年)
2月6日
月曜日
第183号

発行・編集 教育政策課 〒420-8601 静岡市葵区追手町9番6号 TEL 054-221-3168 FAX 054-221-3561 E-mail kyoui_seisaku@pref.shizuoka.lg.jp

子ども一人一人の人権を尊重した教育が進められています～研究指定校の取り組み紹介②～

県立金谷高等学校(平成27・28年度指定)2年間の取り組みを終えて

本校では、研究テーマにある「自他の存在を認め、主体的に行動できる生徒の育成」を目指して、学校の教育活動全体で取り組んできました。

先生方は、生徒一人一人の人権を尊重した授業を実践することを心掛けました。「生徒に対して丁寧な言葉遣いをする」「生徒一人一人の学習の進行状況の把握に努める」「人前で自信を持って発表できるように配慮する」「問題が解けるなどの成功体験を通じ、前向きに取り組む姿勢を大切にすること」などに意識的に取り組む中で、一方的になりがちな授業に変化が生まれ、生徒との意見のやりとりや学習内容の理解を確かめる言動が少しずつ増えてきました。

また、生徒たちは、ロングホームルーム等で「障害者の方による福祉講話」や「人権啓発指導員による人権講話」を聞いたり、「全校一斉の参加体験型人権学習」に取り組んだりする中で、障害者の方の苦労や思い、さまざまな人権課題、違いを認めることの大切さなどについて学ぶことができました。当事者の方々の生の声を聴いて理解を深め、友達と議論して多様な価値観に触れる良い機会となりました。

このような取り組みの成果は生徒へのアンケート結果からもうかがえ、「自尊感情」が育ち「人権の理解」が深まっていることが分かりました。

金谷高校の取り組みの詳細については学校のホームページにも掲載しています。ぜひ、皆さんの学校でも参考にしながら人権教育を実践してみてください。



障害者の方を招いての福祉講話の様子

学校組合立牧之原中学校(平成28・29年度指定)1年目の取り組み

本校では、生徒の課題と捉えている自尊感情、自己有用感、自己表現力などを人権教育を通じて育てていくことをねらい、研究テーマを「自他を尊重し、互いに認め、高め合う生徒の育成」として取り組んでいます。

校内研修では、教職員の共通理解を深めるため、「普段の学校生活の中で子どもを大切にしていること」についてグループ協議を行いました。「声掛けを意識している」「活躍の場を設けている」「小さな変化を見逃さないようにしている」など子どもを大切にしようとする意見が数多く出されていました。それぞれの考えを出し合う中で、同僚の考えを知り、学校全体で人権を尊重することとはどういうことなのかを共有することができました。このような取り組みを繰り返すことにより、教職員の人権意識がさらに高まり、牧之原中学校全体の人権教育の質が少しずつ、向上していくものと考えています。

【教育政策課人権教育推進室】

「いつでも、どこでも」学べる
通信制課程の学習は、「レポート」「スクーリング」「テスト」の3つのステップから成り立っています。

まず、生徒はそれぞれの課題ごとにレポートを完成させます。スクーリングでは東部・中央・西部の各キャンパスに登校し、必要な科目の時間を確保して授業を受け、学習内容の理解を深めます。

卒業後の進路

卒業後の進路は進学、就職などさまざまです。個々に応じた進路指導を行い、生徒への支援を充実させていきます。中には静岡大学などの国立大学へ進学する者もいます。

キャンパス名	入学説明会実施日	問い合わせ先
東部キャンパス(三島長陵高校内)	平成29年2月22日(水)	055(928)5757
中央キャンパス(静岡中央高校)	平成29年2月22日(水)	054(209)2431
西部キャンパス(新居高校内)	平成29年2月23日(木)	053(595)1300

【高校教育課】

入学説明会
静岡中央高校では、左記の日程で入学説明会を開催します。どうぞお気軽にご参加ください。

学校の枠を超え、自分の好きなスポーツに挑戦!!

◆新たな形の「地域スポーツクラブ」を目指して

「通学する学校に希望する部活がない」「専門的な指導ができる指導者がいないため、十分な技術指導が受けられない」「運動・スポーツに触れる機会が少ない」そんな生徒たちの声に応えるため、静岡県では、モデル事業として磐田市に「地域ス

ポーツクラブ(磐田スポーツ部活)」の設置を委託しました。

全国的にも注目を集めているこのモデル事業では、磐田市が中心となつて地域の人材や施設を活用し、学校単位ではなく、市内の複数の中学校の生徒を「一カ所に集めて「部活動」を行う」という、これまでにない新しい形の「地域スポーツクラブ」の活動を展開しています。

◆「磐田スポーツ部活」始動!!

平成28年5月に、「地域スポーツクラブ(磐田スポーツ部活)」の開始式を実施し、陸上競技部(陸上競技部のない市内3校から募集)とラグビー部(市内の中学校にはラグビー部がないため、全校から募集)が設置されました。



磐田スポーツ部活開始式

◆運動・スポーツ機会のさらなる充実を

この地域スポーツクラブでは、本年度、陸上・ラグビーの「部活動」の他にも、一層の技術指導を希望する生徒に競技レベルに応じた専門的な指導を行う「スポーツ塾(卓球)や学校の部活動の他に、新たなスポーツの体験を希望する生徒に対



陸上部の練習風景

現在、約30人の生徒が、週4回の活動を行っており、陸上部では、地元の大ランポリン)を実施しています。その機会を提供する「スポーツ体験教室(トランポリン)」を実施しました。

「誰でも」学べる

静岡中央高校通信制課程には、現在1500人近い生徒が在籍しています。左のグラフが示す通り、入学した生徒の状況はさまざまです。また、全体の約半数が20歳以上の成人となっており、年齢構成が幅広いことも特徴です。

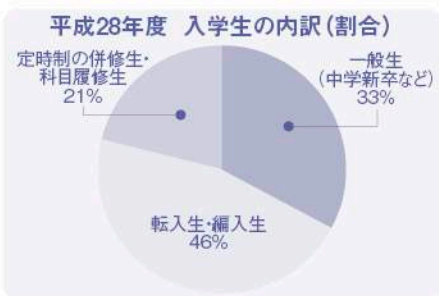
県内唯一の公立通信制課程 静岡中央高校

年間に必要な学費
公立の通信制ということで、経済的負担の少ないことも大きな魅力です。左の表を参考にしてください。

年間に必要な学費(平成28年度)

項目	金額
入学料	500円
レポート教材費(8科目分)	1,500円
諸費	3,400円
その他(教科書代等)	20,000円程度
授業料	※1単位につき336円

※保護者等の所得や過去の高校在籍期間に応じて就学支援金制度による支援が受けられ、実質無償になる場合があります



教科「情報」におけるスクーリングの様子

実践NOTE 365

地域活動プロジェクト

高校生による フィルムツーリズム(ロケ地を訪れる旅の 地方活性化プラン)

相良高等学校 教諭 小塩 宜浩



筆者

SCCH活動の開始

※Super Community-based High school(スーパー地域密着型高等学校)

本校では、本年度4月から「SCCH地域活動相高プロジェクト」を開始しました。

このプロジェクトは、「地域に関わる体験的活動を組織的に推進し、社会性及び責任感のある生徒を育成する」ことを目標にしています。

今回は、このプロジェクトで商業科の生徒が担当し実践してきた「高校生によるフィルムツーリズムの地域活性化プラン」を紹介します。

地元再発見

4月から3年生の課題研究の授業で、「牧之原市を活性化するために」というテーマで取り組んでいます。

最初にブレインストーミングで、牧之原市の「強み」と「弱み」について「KJ法(話し合ったことをカードに書き出し、グループ分けすることで、発想をまとめる手法)」を使って意見集約を行いました。



課題研究でのブレインストーミングの様子

プラス要因		マイナス要因	
内部環境	強み (Strengths) ・富士山静岡空港がある ・美しい景観がある ・県内有数の海水浴場がある ・お茶の生産高がトップクラス ・大きな工場がある	外部環境	弱み (Weaknesses) ・公共交通機関が少ない ・娯楽施設が少ない ・買い物できる場所が少ない ・人口が減っている
	機会 (Opportunities) ・インバウンドの急激な増加 ・観光客(海水浴客)の回復 ・ロケ地として活用されている ・円安が進んでいる		脅威 (Threats) ・他の観光地との競争 ・円高 ・工場従業員の減少 ・お茶の生産高の伸び悩み ・中国、韓国、台湾との関係

牧之原市のSWOT分析結果

理論から実践へ

生徒たちは、「牧之原市の美しい景観を多くの人に知ってもらい、観光客増加につなげ、街の活性化を図る」という目標を立て、どのようなビジネスモデルがあるかを考えました。

その後、意見集約された3つのテーマ「産業」「富士山静岡空港」「インバウンド観光」について調査を行い、その調査結果を基に、「強み」「弱み」と「機会」「脅威」の4つの軸から評価する「SWOT分析」を行い、これから取り組むべき課題について話し合いました。

その結果、牧之原市の「強み」や「機会」を生かすためには、観光資源である美しい景観を積極的にアピールして観光客に来てもらい、街の活性化を図るべき、という結論に至りました。

本年度は、「静岡県生徒商業研究発表大会」と「ふじのくに実学チャレンジフェスタ」に参加し、活動成果を発表しました。さらに県庁や市役所、地元金融機関でのプレゼンテーションも実施しました。

今後の活動として、景観のデータベースを早期に完成させることに加え、榛南地区のCM作りやツアー企画を行うことを考えています。



ロケ景観データベース画面

このプロジェクトは、来年度以降、在校生に引き継がれていきます。さらに充実した研究を継続し、実践面でも本校のコンセプトである「地域を愛し地域から愛され続ける」を目指してまいります。

実践NOTE 366

浜松一の学年を目指して

浜松市かなわ野外活動センター 指導主事 宮下 純仁



授業中の筆者(中央)

前所属の浜松市立高台中学校での実践を紹介いたします。

教育ビジョンの明確化

中学生は、3年間の間に見違えるほど心身共に大きく成長します。そこで、中学校入学から卒業までの3年間の教育ビジョンを明確にし、情報発信を工夫して教育活動を行えば、より教育的効果が高まるのではないかと考えました。

生徒が自治する工夫

学年の目標を達成するために、教師だけでなく、学年委員の生徒も交えて話し合いを行いました。問題点を克服し、学年をステップアップさせるために、リーダーがどう行動すればよいかを考えさせ、教師がその実行を支援しました。生徒から出たアイデアを生かし、キャンペーンや学年行事を企画しました。

学年通信による情報発信の工夫

学校の情報はなかなか正確に家庭に伝わりません。私たちのビジョンや意図する目標、手段、結果や生徒の思いなどを、直接家庭に伝えるために、学年通信を発行しました。また、この学年通信では教師や生徒の思いだけでなく、保護者の思いも掲載し、双方向のコミュニケーションの場とすることで、より良い学校にしたいというビジョンを3者で共有することができました。

学年掲示による情報発信の工夫

学年で取り組む特別活動(スキー教室や自然体験活動、修学旅行など)では、「しおり」に書いてあることは教師に質問しないというルールで事前指導を行いました。その結果、しおりを作る実行委員は、自分の仕事に責任感ややりがいを感じて作業を行うようになり、しおりを使う側は、どこに何が書かれているかをよく理解しようとし、また、実行委員に感謝するようになりました。特に修学旅行では、旅行中のルールを実行委員が呼び掛け、全員が守ったため、教師が服装や行動などを指導する場面が最後までありませんでした。教師は、生徒の様子を温かく見守りながら、旅行中の出来事について語り合う関係を構築することができました。

実践の結果

現在の高台中学校は、日常的に道徳的な行動が見られる落ち着いた学校となりました。高台中学校は私たち教職員の誇りです。

手立てを導く工夫

入学時に、学年部の教員の間で「どんな卒業を迎えさせたいのか」「どの

学年で取り組む特別活動(スキー教室や自然体験活動、修学旅行など)では、「しおり」に書いてあることは教師に質問しないというルールで事前指導を行いました。その結果、しおりを作る実行委員は、自分の仕事に責任感ややりがいを感じて作業を行うようになり、しおりを使う側は、どこに何が書かれているかをよく理解しようとし、また、実行委員に感謝するようになりました。特に修学旅行では、旅行中のルールを実行委員が呼び掛け、全員が守ったため、教師が服装や行動などを指導する場面が最後までありませんでした。教師は、生徒の様子を温かく見守りながら、旅行中の出来事について語り合う関係を構築することができました。

このプロジェクトは、来年度以降、在校生に引き継がれていきます。さらに充実した研究を継続し、実践面でも本校のコンセプトである「地域を愛し地域から愛され続ける」を目指してまいります。

多くの作家歌人に縁のある伊豆で開催します！
伊豆文学フェスティバルの参加者募集
第20回伊豆文学賞の表彰式と伊豆文学塾を、平成29年3月5日(日)午後2時から、伊豆市の修善寺生きいきプラザ(伊豆箱根鉄道修善寺駅から徒歩10分)で開催します。今年の伊豆文学賞は、伊豆文学賞審査員の村松友視さん、嵐山光三郎さん、太田治子さんによる座談会を予定しています。プロの作家だから話せる、愉快で含蓄のあるエピソードが盛りだくさん。昨年の文学塾も盛り上がり、大変好評でした。
詳細は県文化政策課へお問い合わせください。伊豆文学フェスティバルホームページをご覧ください。

教育という職のすばらしさ vol.32 教ふるは学ぶのなかばなり

掛川西高等学校 教諭 田中昌文



3年生最後の試合会場にて(筆者右)

がむしやらに走り続けた若い頃

時が経つのは早いもので、教壇に立ち28年。平成元年に採用され、初任校は県東部の富士高校。右も左も分からない中、授業、部活指導、全ての面で先輩教員に負けたくないという気持ちだけで突っ走っていました。

人を育てる

当時ある先輩教員から「教員の腕の見せ所は、子どもたちに目の前の壁を自分の力で乗り越えることができたと感じさせられるかだ」とアドバイスをいただきました。それまでの『教員』は『指導する』という価値観が大きく変わった瞬間でした。

生徒の姿に学ぶ

スポーツが大好きな私にとって、今でも部活指導は大きな柱の一つです。現在は男子テニス部を担当し、『本気の文武両道』

見る前に飛べ

子どもたちに対し「広い視野を持って」とか、「文武両道を目指せ」と言うのであれば、我々教員が食わず嫌いで駄目だと思いません。新たな仲間との出会い、新たな経験が自分の視野を広げ、それが教員としての幅を広げ、その姿を見て子どもたちは、新しいことに挑戦する

声掛けられ、連れて行っていたきました。今思えば恥ずかしい限りですが、そんな場でした。仕事は悩みや愚痴を、時にはかなり傍若無人な態度でこぼしてしまいました。そんな若輩の私に対して、も真剣に向き合い、温かく受けとめていただいた先輩方に本当に感謝しています。

人の縁を大切に

最後に、これまでの教員生活を振り返ると、山あり谷あり、決して順風満帆の教員生活ではありませんでした。しかし、私には運がありました。本当に多くの良き同僚に恵まれたのです。彼らの助けで一人では決して乗り越えることができないいくつもの壁を乗り越えることができました。だからこそ子どもたちにも人との出会い、縁の大切さをこれからも伝えていきたいと思っています。

文化財ほっと通信 新指定の文化財より 「旧沼津御用邸苑地」



旧沼津御用邸苑地(全景)

平成28年10月3日、旧沼津御用邸苑地が国の名勝に指定されました。

名勝とは

古くから詩に詠まれるなど、優れた風致景観を持つ峡谷、海浜、山岳や芸術・学術上価値の高い庭園等のことです。このうち、日本の国土美として欠くことができないものが、国の名勝に指定され、県内では旧沼津御用邸苑地が11カ所目となります。

名勝旧沼津御用邸苑地の見どころ

苑内には、東西の附属邸が残り、西附属邸は当時の家具などと共に見学することが出来ます。公園入口から見える西附属邸に目がいきがちですが、名勝地として評価をされたのは、建物周辺に広がる調和のとれたクロマツ林と芝生地、そして駿河湾、富士山、牛臥山などに代表される苑内からの眺望景観です。皇室の方々も親しんだ景色をぜひ、ご堪能ください。

沼津御用邸とは

皇室の保養のために、明治26年に造営され、昭和44年まで利用されました。現在は、「沼津御用邸記念公園」として市民の憩いの場となっています。

【文化財保護課】



『わっぴーぴょん』誕生

幼児教育の重要性を県民で広く共有し、幼児教育推進の機運を醸成するためのマスコットキャラクターを募集したところ、小学生から大人まで、総数331名の応募をいただきました。

審査の結果、浜松市在住の石川綾乃さんの作品『わっぴーぴょん』が最優秀賞に選ばれました。石川さんは、「幼稚園・保育

【幼児教育センター】

子どもをはぐくむ地域活動優秀実践団体表彰



手打ちうどんに挑戦する子どもたち(浅羽東子ども通学合宿)

学校が直面する課題が複雑化、多様化する中、地域全体で子どもを育てる体制の充実が求められています。県教育委員会では、地域で優れた教育活動を実践し、地域の教育力の向上に貢献している団体を表彰しています。本年度は、下記の7団体が県教育長より表彰されました。

団体名	活動内容
麦塚青年会(裾野市)	地域の活性化を目的に、子どもと高齢者のふれあいを大切にしながら、マス釣り大会、夏祭り、区民運動会、クリスマスプレゼントの配布、河川敷清掃など、さまざまなイベントを実施している。
清水町立清水小学校くすのきき宿実行委員会(清水町)	子どもたちがお互いを尊重し、協力する心を育むことを目的に、通学合宿を実施。地域理解を深めるために、「清水町の未来をデザインしよう」をテーマに未来の町の模型制作を行っている。
長泉わんぱく通学合宿実行委員会(長泉町)	町内3つの小学校の4～6年生を対象に、通学合宿を実施。校区を問わずに児童が集まるため、お互いの立場や役割を理解し、協力し合う心を育むことができるよう、班別の交流活動を積極的に取り入れている。
片岡きらめき塾(吉田町)	地域ボランティア団体を中心となり、通学合宿や花火・肝だめし大会、門松づくり、親子のみそづくり教室などを実施。通学合宿では、子どもたち自身による夕食の買い出しなど、自立心を育むための工夫を凝らした活動を取り入れている。
おはなしパレット(牧之原市)	子どもたちの感性を磨き、豊かな心を育むため、学校等ではおはなし会を実施。地域に伝わる民話を元にした大型紙芝居や地元の偉人を取り上げたパネルシアターを制作し、披露している。
袋井読み聞かせグループ ゆずり葉(袋井市)	子どもたちの健やかな成長と地域への愛着を育むことを目的に、幼稚園や学校等で紙芝居を中心とした読み聞かせ活動を実施。紙芝居は手作りであり、市内に古くから伝わる伝説や習わしを題材としている。
浅羽東子ども通学合宿実行委員会(袋井市)	子どもたちの自立心や協調性を育むことを目的に、通学合宿を実施。「もらい湯」や地元産小麦粉を使用した手打ちうどんの調理など、地域に密着した活動を実施している。

【社会教育課】

歌人の俵万智さんと田中章義さんの対談開催

第3回 あいのうた

出会いから子育てまでの短歌コンテスト

第3回「あいのうた短歌コンテスト」の表彰式と併せて、「サラダ記念日」「生まれてパンザイ」などで知られる歌人の俵万智氏と、静岡県出身で歌人の田中章義氏による対談を開催します。出会い・子育てへの思いを込めた「あいのうた」を2人の歌人が語り合います。参加者にははまれなく「あいのうた」カレンダーをプレゼント!

- 日時 3月25日(土)13時30分から15時30分まで
- 場所 静岡県庁別館21階(展望ロビー)
- 定員 100名(先着順)
- 申込 事務局までお問い合わせいただくか、専用HPをご覧ください。
- 申問 あいのうた事務局 ☎054(284)6754



歌人 俵万智氏



歌人 田中章義氏



専用HP

総合教育センター
まなぶるAngle
静岡県生涯学習推進フォーラム
市民の視点から
地域と学校の
連携を考える

総合教育センターでは、地域の教育力向上及び生涯学習社会の構築を目指して、「静岡県生涯学習推進フォーラム」を開催しています。

昨年12月2日に、静岡県男女共同参画センター「あざれあ」(静岡市駿河区)で開催した今年度のフォーラムでは、講師に横浜市立東山田中学校学校運営協議会会長の竹原和泉さんをお招きしました。

竹原さんは、平成17年度開校の東山田中学校のコミュニティ・スクールに発足当時から携わり、地域ぐるみで学校を支える仕組みを作っています。同校に併設するコミュニティハウスは、学校支援地域本部の事務局を兼ね、地域住民の交流の場になっています。

竹原さんには、地域と学校がお互いの強みをどうのよう生かせば連携して子どもを育てられるかを、実践事例を交えて教えていただきました。

また、連携の目的を「教育課程だけでなく、学校から『地域』への広い空間のつながりの中でも子どもの成長機会を保障すること」であると語られました。

連携のための「コミュニティセッション」

講演では、地域と学校の情報をまとめたコミュニティカレンダー、キャリア教育としての地域住民による模擬面接等、学校教育の視

点にとられない自由な発想から生まれた取り組みが紹介されました。

それぞれの空間をつなぐのは大人の役割で、情報や活動を共有するためには、お互いを知るための丁寧なコミュニケーションが必要になります。コミュニティハウスの取り組みから、意思の疎通を日頃から図り、交流する場を設けることの大切さについても学ぶことができました。

地域や学校が抱える課題は千差万別で、一方からでは解決できません。地域と学校は立場や強み、教育的な役割が違います。学校ができることも地域ならではの視点で見ることがあります。別の視点や価値観を知り、連携していくことで新たな可能性が見えてきます。未来を担う子どもたちの成長を支えるため、多様性を受け入れ、できることを広げていくことが大切です。

連携を通じて学ぶ

総務企画課生涯学習推進室



さまざまな立場の参加者によるグループ協議

「富士山の日」歴史講演会
縄文vs弥生 弥生時代の木の文化

稲作を始めた弥生時代の人々は、クワなどさまざまな道具にどの木を使い、どのように加工したのでしょうか？

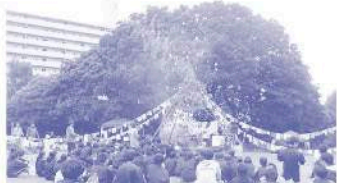
本講演では、出土した木製品の研究成果を通して、縄文時代と弥生時代の森と木の使い方の違いや東西地域の違いをひも解きます。



- 日時 2月18日(土)13:30~
- 会場 県埋蔵文化財センター (静岡市清水区蒲原5300-5)
- 講師 鈴木 三男 氏(東北大学名誉教授)
- 定員 100人
- 申込 電話・FAX・メールのいずれかにて氏名、連絡先をお伝えください。※参加無料
- 申・問 県埋蔵文化財センター 054(385)5500 054(385)5506
- Eメール maibun_tyosa@pref.shizuoka.lg.jp

三ヶ日青年の家 主催事業
第3回「みっかび家族と森の海のフェスティバル ~ぬくもり~」

今年度は「ぬくもり」をテーマに、地元の皆さまと共に作り上げる施設開放のイベントを開催いたします!!



昨年のフェスティバルの様子

大自然の中でのクラフト等の体験活動、大型モーターボートでの「浜名湖クルージング」、三ヶ日の町をバスで探検する「三ヶ日クルーズ」の他、各種飲食物販売、景品付きスタンプラリー、浜名湖一望大浴場無料開放など、楽しい企画が盛りだくさんです!!

夜は、大きな火を囲んで食べる「アウトドアディナー」、来場者全員で歌って踊る「キャンプファイヤー」を初開催!!

ぬくもりを感じる本イベントへの、皆さまのご来場をお待ちしております。

- 日時 3月12日(日)12:00~19:00
- 会場 三ヶ日青年の家 (浜西市北区三ヶ日都筑523-1)
- 入場料 無料 (一部体験有料、予約制)
- 問 三ヶ日青年の家 053(526)7156

富士山の日協賛イベント
ふじさん(223)ウォーキング

2月23日は富士山の日。講座で富士山について楽しく学んだ後は、富士山を見ながらウォーキングをして、家族で富士山を再発見してみませんか？

- 日時 2月25日(土) 9:30~12:30 (現地集合・解散)
- 対象 家族・グループ (未成年のみでの申込不可)
- 定員 150人(先着順)
- 参加費 600円
- 申込 参加者全員の①氏名②年齢③性別④郵便番号・住所⑤電話番号を記入の上、郵送またはFAXにてお申し込みください。

申・問 朝霧野外活動センター
〒418-010 富士宮市根原1番地
0544(52)0321 0544(52)0320

県立中央図書館
日本平ハイキング
のススメ

冬の寒さで外に出るのがおっくうになり、家に閉じこもってばかりではもったいない！県立中央図書館の周辺でハイキングを楽しんでみてはいかがでしょうか。

有度山からスタート

図書館は静岡平野にほつかり浮かぶ標高300m程度の丘陵「有度山」の北西部に建てられています。周りには、四季を楽しめる種類豊富な樹木や、ビタミンB1を発見した静岡県出身の鈴木梅太郎博士の胸像、やぶきた茶の原樹など見所がたくさんあります。

図書館へは静岡鉄道の県立美術館前駅で下車して、南幹線に向かって坂道を上ります。この先の県立美術館へのアプローチ歩道である「プロムナード」には、国内外の彫刻家による作品が12点設置されています。足を止めて一つ一つ鑑賞するのもよいでしょう。

図書館隣の県立美術館の遊歩道から下っていくと日本平ハイキングコースの始まりです。



富士山の浮世絵
寛政十一年(1799) 浮世絵師 葛飾画堂

絶景の富士山

日本平ハイキングコースの案内板が見えたら、あとは看板の案内するコースを進みます。

少し狭い道もありますが、整備された登山道は歩きやすく、案内板も適所に設置してあるので迷う心配もありません。ゆっくり歩いて90分程度で日本平山頂に到着します。日本平は日本観光地100選、国の名勝地、県立自然公園に指定されており、ここから見える富士山は誰もが息をのむ美しさです。特に空気の澄んだ冬の富士山はまさに日本の絶景と言えるでしょう。

下山したら図書館へ

体を動かした後は、ぜひ図書館へ。80万冊余りある蔵書の中から、皆さんの知的好奇心を満たすものを探してください。カウンター職員が本を探しお手伝いをしますので、お気軽に声を掛けてください。

【中央図書館総務課】

EDITOR

県教育委員会のフェイスブックがあることを皆さんご存知ですか？県教委の活動や各種イベント等を発信しています。「Eジャーナルしずおか」の発行のお知らせも投稿しています。下記のQRコードからぜひアクセスしてみてください！



静岡県教育委員会フェイスブックで検索

高松宮妃喜久子さまがご成婚の際にお持ちになった京雛をお披露目

グランシップ 高松宮妃のおひなさま展

2/11(土・祝)~3/5(日)

10:00~17:00 | 会場/グランシップ 6階展示ギャラリー | 入場無料
※期間中無休 (JR東静岡駅南口隣接)

「高松宮妃のおひなさま展」は、今から87年前の昭和5年2月4日、第十五代将軍徳川慶喜公の孫にあたる高松宮妃喜久子さまがご成婚のお支度としてお持ちになった京雛を展示します。幅5.9m、高さ3.6mの大きさながら、雅な佇まいの雛人形、実際と違わずほど精巧に作られた調度品の数々。約600点の調度品にはひとつひとつに葵の御紋が施されています。年に一度のお披露目として、美しく華やかなおひなさまを是非ごらんください。

【お問い合わせ】グランシップチケットセンター/TEL 054-289-9000(営業時間10:00~18:30)
主催:(公財)静岡県文化財団、静岡県 後援:静岡県教育委員会 協力:公益財団法人高松宮妃癌研究基金、富士宮本町商店街振興組合レディース会